

理由

2

サポート体制が充実している

ふたりが研修先を選んだ石狩市で新規就農者のサポートを行っているのが石狩市農業総合支援センター。石狩市、石狩市農業協同組合、石狩市農業委員会・北石狩農業協同組合の4者で構成され、本格的に農業を目指す人をきめ細やかに支えています。

就農相談からデビュー後のフォローまで必要な時に、

必要な支援をワンストップで提供



支援センター

相談受付

就農についてあらゆる相談を受け付けています。まずはお気軽にお問い合わせください。

就農研修

就農研修に申し込み際に必要な書類作成などを支援します。

体験農場紹介

希望する農業体験(施設園芸、露地栽培など)に応じた、受け入れ農家をご紹介します。

フォロー研修

育苗管理や病害虫対策など、新規就農後も必要なサポートを継続します。

融資手続き支援

国や自治体による融資制度を紹介し、申請手続きなどを支援します。

先輩農家との交流

先輩農家の農場を見学する機会を定期的に設けるなど、地域への溶け込みを促します。

営農について
学びたい

お金の不安を
解消したい

地域に
溶け込みたい

研修を
受けたい

就農について
相談したい

農業体験を
してみたい

ホンネが聞きたい!

Q. 一番助かった支援はどんなもの？

農業を営む上で必要な農業簿記の付け方や経営について学べたこと。

水や肥料の与え方といった作物を育てるノウハウは研修先の農家の方がしっかり指導してくれますが、それに加え、経営として営農を続けていくために必要な知識をしっかりと教えてくれるので心強いですね。

by 廣井さん

理由 3

頼りになる指導者がいる

石狩市で研修を受けるふたりの指導役を担ったのは、この地で長年ミニトマト栽培に携わる北海道指導農業士の越後浩義さん。これまで何人も研修生を育て上げてきました。石狩には研修生に必要な知識や技術を教え、精神的な支えにもなる優れた指導者が揃っています。



Interview

研究熱心で飲み込みも早い。 自分らしい農業で成功してほしいです。

北海道指導農業士 越後浩義さん(JAいしかり ミニトマト部会 役員)

石狩市で40年近く農業をやっており、ミニトマトの栽培も20年以上です。これまで指導をしてきた研修生は今の2人を含めて6名。以前にも女性の研修生を指導したことがあります。

石狩市では地域全体でタッグを組んで、研修生をサポートしています。機械類の操作などは他の指導農

業士が教えていますし、石狩市農業総合支援センターのほうでも経営面を指導しています。2人を育てるのは僕だけではありません。

2人は農業についてとても研究熱心で、気になることがあれば細かいことでも質問してくれます。聞かれればその場で説明ができるので、かえって頼もしい。



時には僕自身が当たり前のようにやっていたことを「なぜ、やるのか?」と質問されるので、改めて考える良い機会になるんです。教えることで、気づかされることも多いって言うのかな。

せっかく新規就農するのであれば、今までのやり方とか僕が教えたことだけでは縛られず、自分のカラーを出して自由にやってもらいたい。2人ならきっと多くの人に期待される良い農家になれるはず。そしてもし困ったことがあれば、いつでも頼りにしてもらいたいですね。



ホッネが聞きたい!

Q. 北海道指導農業士の越後さんってどんな人?

佐々木 ミニトマト作りの職人っていう。

廣井 うん、うん。

佐々木 ミニトマトハウスで作業していても、今、気温上がったねとか、風向き変わったねとかというのを肌で感じ取っていて、私たちがハウスの窓を開けなきゃって思っていると…

廣井 もう開けていたとかね(笑)

佐々木 すごいなって思います。

— 教え方は厳しい? —

廣井 厳しいっていう感じではないかな。

佐々木 すごく丁寧に、細かいことまで教えてください。私たちの先輩には何人も越後さんの卒業生がいっちゃって、皆さんミニトマトの農家として独立していらっしゃるんです。

廣井 この人についていけば安心だって思える方です。

— どんな感じで教えてもらってるの? —

廣井 ちゃんとひとりでやっていけるように、いろいろ考えながら教えてください。土づくりから始めて、管理の仕方、水のやり方、次の年の準備とか全部。もう何人も教えてきている方なので、とてもわかりやすいです。

佐々木 越後さん自身のやり方は、既に確立されたものがあるんですけど、私たちがやるんだったら、このやり方じゃなくて、

こういうやり方のほうが力を使わずにできるかもねって考えてくださるので、そこがすごくありがたいなって。

— お父さんみたいな感じ? —

佐々木 みんなのお父さんって感じかな。

廣井 そうですね。

佐々木 あそこで教えてもらっているんだったら安心だねって、皆さん言ってくれます。

廣井 越後さんから見たら、私は孫みたいな感じかも(笑)。

佐々木 私は娘さんと同じ歳なので、まさに父ですね(笑)。

